

第7次大阪府医療計画における目標値の取扱いについて

資料2-3

1 計画開始年度前段階で中間年目標値を超過しているもの

【凡例】Ⅰ：検討（見直しの検討）、Ⅱ：当面継続（今後必要に応じて見直しの検討）、Ⅲ：継続（見直しの検討なし）

分類 B：目標 C：目的	指 標	計画策定時		2019年度評価	目標値		目標値の取扱い			
		値 (調査年)	出典	値 (調査年)	2020年度 (中間年)	2023年度 (最終年)	【参考】 2018年度	2019年度	方向性	
第5章 在宅医療	C	在宅看取り件数	6,660件 (2014年)	厚生労働省 「医療施設調査」	10,068 (2017年)	9,000件	10,260件	Ⅰ：検討	Ⅰ：検討	在宅医療推進部会での意見も踏まえ、最新のデータを用いて、目標値の見直しについて検討。あわせて、補助指標の設定の必要性等について検討。
	C	介護支援連携指導料算定件数	25,321件 (2015年)	厚生労働省 「データブックDisk1」	33,437件 (2016年)	32,660件	37,230件	Ⅰ：検討	Ⅰ：検討	

2 直近の実績で中間年目標値または最終年目標値を達成しているもの

【凡例】Ⅰ：検討（見直しの検討）、Ⅱ：当面継続（今後必要に応じて見直しの検討）、Ⅲ：継続（見直しの検討なし）

分類 B：目標 C：目的	指 標	計画策定時		2019年度評価	目標値		目標値の取扱い				
		値 (調査年)	出典	値 (調査年)	2020年度 (中間年)	2023年度 (最終年)	【参考】 2018年度	2019年度	方向性		
第5章 在宅医療	B	在宅患者調剤加算の届出薬局数	1,366か所 (2017年)	近畿厚生局 「施設基準届出」	1,831か所 (2020年2月)	1,610か所	1,830か所	Ⅱ：当面継続	Ⅱ：当面継続	在宅医療のニーズの伸びに伴う通過点として設定であるため、取組継続し、中間年での計画見直しの際に、最終年目標値の見直しの要否について検討。	
	B	人口規模に応じた在宅療養後方支援病院が整備されている圏域数(0.4か所/圏域10万人)	2圏域 (2017年)	近畿厚生局 「施設基準届出」	5圏域 (2020年2月)	5圏域	7圏域	—	Ⅱ：当面継続	最終年目標値の達成をめざし取組継続し、中間年での計画見直しの際に、最終年目標値の見直しの要否について検討。	
第6章第5節 精神疾患	B	各精神疾患等に対応可能な医療機関数	②認知症	339	大阪府 「こころの健康総合センター調べ」	366 (2019年12月)	366	397	Ⅱ：当面継続	Ⅱ：当面継続	最終年目標値の達成をめざし取組継続し、中間年での計画見直しの際に、最終年目標値の見直しの要否について検討。
			③児童	90		107 (2019年12月)	97	105			
			⑦アルコール依存	82		94 (2019年12月)	89	96			
			⑨その他依存	29		39 (2019年12月)	31	34			
			⑪高次脳機能障がい	80		96 (2019年12月)	86	94			
	⑬発達障がい	188	205 (2019年12月)	203	220						
	B	①依存症診療	①99 (2017年)	大阪府 「こころの健康総合センター調べ」	①113 (2019年)	①107	①116	—	Ⅱ：当面継続	①最終年目標値の達成をめざし取組継続し、中間年での計画見直しの際に、最終年目標値の見直しの要否について検討。	
②回復プログラム実施医療機関数			②20 (2017年)		②31 (2019年)	②24	②28				
B	①難治性精神疾患の治療可能医療機関数	①21か所 (2017年)	クロザリル適正使用委員会 「CPMS登録医療機関情報」	①25 (2019年12月)	①22 (各圏域2か所以上)	①25 (各圏域3か所以上)	Ⅲ：継続	Ⅲ：継続	目標値は変更せず、取組みを継続。 ・各圏域2か所以上確保という目標が達成できていないため。 (2か所以上確保した圏域7)		
		②登録患者数		②450人 (2017年)	②658 (2019年12月)	②470人				②545人	
第6章第7節 災害医療	B	災害医療コーディネーター数	20人 (2017年)	大阪府 「医療対策課調べ」	60人 (2018年)	50人	100人	Ⅲ：継続	Ⅲ：継続	目標値は変更せず、取組みを継続。 ・今後は、今年度並みには増えない見込みであるため。	
	B	災害拠点病院のBCP策定率	36.8% (2017年)	厚生労働省 「災害拠点病院現況調査」	100% (2018年)	100%	100%	Ⅲ：継続	Ⅲ：継続	目標値は変更せず、取組みを継続。 ・今後も100%維持し、訓練実施やBCPの見直しなどを働きかけていく。	
	B	原子力災害拠点病院数	0病院 (2017年)	大阪府 「医療対策課調べ」	1病院 (2018年)	1病院	1病院	Ⅲ：継続	Ⅲ：継続	目標値は変更せず、取組みを継続。 ・府内の原子力施設の状況等を鑑み設定した目標値であるため。	
	B	原子力災害医療協力機関数	0機関 (2017年)	大阪府 「医療対策課調べ」	2機関 (2018年)	2機関	2機関	Ⅲ：継続	Ⅲ：継続	目標値は変更せず、取組みを継続。今後、見直しが必要となる場合は、原子力災害医療ネットワーク検討会等の意見を踏まえ検討。	
第7章第4節 臓器移植対策	B	院内移植コーディネーター届出者数 (脳死下臓器提供可能施設)	95人 (2016年度)	大阪府 「地域保健課調べ」	130人 (2019年度)	101人	107人	Ⅰ：検討	Ⅰ：検討	「大阪府臓器移植コーディネーター」の意見を踏まえ、目標数値の見直しについて検討。	
第7章第5節 骨髄移植対策	B	ドナー登録者数(新規、18歳～54歳)	585人 (2016年度)	日本赤十字社「臓器提供の 意思表示に関する意識調査」	2,411人 (2018年度)	700人	850人	—	Ⅰ：検討	他府県の実績等の意見を踏まえ、目標数値の見直しについて検討。	
第7章第6節 難病対策	B	難病対策基本方針に基づく 難病診療連携拠点病院の設置状況	0か所 (2017年度)	大阪府 「地域保健課調べ」	12か所 (2018年)	1か所	1か所	Ⅰ：検討	Ⅰ：検討	「大阪府難病医療推進会議」において、見直しの必要との意見があれば検討。	
第7章第7節 アレルギー疾患対策	B	拠点病院の指定数	0か所 (2017年度)	大阪府 「地域保健課調べ」	4か所 (2018年度)	1～2か所	1～2か所	Ⅰ：検討	Ⅰ：検討	「大阪府アレルギー疾患対策連絡会議」において、府域の医療提供体制整備に向けた意見交換を行う中で、見直しの必要性等について検討。	
第7章第9節 薬事対策	B	かかりつけ薬剤師指導料及び かかりつけ薬剤師包括管理料届出数	1,960件(48.4%) (2017年)	近畿厚生局 「施設基準届出」	2,560件(60.9%) (2020年2月)	2,299件(56.8%)	2,638件(65.2%)	Ⅱ：当面継続	Ⅱ：当面継続	最終年目標値の達成をめざし取組継続し、中間年での計画見直しの際に、最終年目標値の見直しの要否について検討。	
	B	在宅患者調剤加算の届出数	1,366か所(33.8%) (2017年)	近畿厚生局 「施設基準届出」	1,831か所(43.5%) (2020年2月)	1,610件(39.8%)	1,830件(45.2%)	Ⅱ：当面継続	Ⅱ：当面継続	在宅医療のニーズの伸びに伴う通過点として設定であるため、取組継続し、中間年での計画見直しの際に、最終年目標値の見直しの要否について検討。	
	B	健康サポート薬局の届出数	31件 (2017年)	大阪府 「業務課届出受理件数」	184件 (2019年12月)	103件	174件	Ⅱ：当面継続	Ⅱ：当面継続	将来的に日常生活圏(中学校区として約460)毎に1件の設置を目指す通過点としての設定であるため、取組継続し、中間年での計画見直しの際に、最終年目標値の見直しの要否について検討。	